

文藝春秋

2016年
10月号
(9/9発売号)

特別連合企画「アクティブシニア特集」

元気が長続きする! 脳と耳の鍛え方

第1部
脳の老化対策

第2部
補聴器

広告対象

補聴器/脳ドック/特定保健用食品(トクホ)/脳トレツール/介護予防アイテム
健康指導サービス/認知症向け製薬/ホームヘルパー など

特典
1

資料請求
連合ハガキ付き!

「1社あたり平均700通」

(2015年10月号「補聴器特集」実績)など、反響が大きいシニア向け特集。「読者の声」からも、多くの方が健康に関する特集を望んでいることが分かります。

特典
2

タイアップページの
5000部の
抜き刷りを無料で
ご提供致します。

① 4C2P タイアップ

350万円(通常実施価格:388万円) ※制作費込

② 4C1P 純広告+4C1P タイアップ

340万円(通常実施価格:368万円) ※制作費込

③ 4C2P 純広告

328万円

広告料金

④ 4C1P タイアップ

180万円(通常実施価格:194万円) ※制作費込

⑤ 4C1P 純広告

164万円

⑥ 1C1P 純広告

95万円

- ・企画巻末には、読者アンケート&資料請求連合ハガキをお付けします。
- ・連合広告企画により、タイアップ広告の誌面デザインは統一させていただきます。
- ・1P広告ご掲載の際には、広告対向になる可能性があります。

スケジュール

タイアップ

～ 7月29日(金)... オリエン・取材
8月17日(水)... 初校PDF提出
8月24日(水)... 校了

お申込み締切り日

7月15日(金)

純広告

お申込み締切り日

8月5日(金)

※純広告の原稿は、8月24日(水)までに
JMPA準拠データにて入稿をお願いします。

お問い合わせ

株式会社 文藝春秋 メディア事業局
メディア事業一部

TEL 03-3288-6247 FAX 03-3239-5481
<http://koukoku.bunshun.co.jp/>

株式会社文藝春秋 メディア事業局メディア事業一部

ご挨拶

月刊総合誌において発行部数ナンバーワンである『文藝春秋』読者の中心は、50～70代。ヘルスケアの情報を、最も求めている層です。そんな読者のニーズに応じて、今回の「アクティブシニア特集」は、本人はもちろん、周囲のストレスも増してしまう「脳」と「耳」の不調をクローズアップします。

第1部は「脳の老化対策」編として、認知症になったときに助けになる製品・サービスや、認知症を予防するのに有効なトレーニングを紹介。第2部の「補聴器」編では、進化する補聴器の性能やその効果を盛り込み、いきいきと自分らしく過ごすための補聴器の最前線を解説していきます。

もうあと5年もすると団塊の世代が75歳以上になります。誰もが自分ごととして脳と耳の問題を考え始めたとき、その頼れるパートナーとして、貴社の製品やサービスの魅力を訴求できる絶好の機会ですので、ご活用賜りますようよろしくお願い申し上げます。

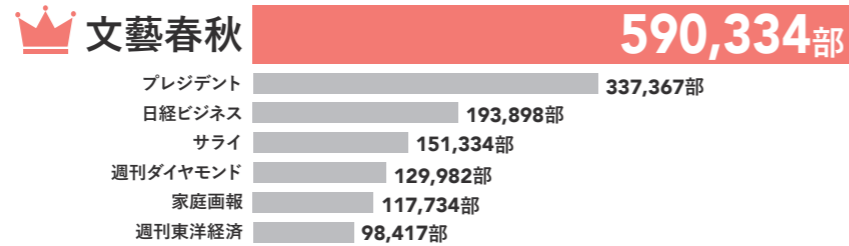
媒体概要

[創刊]大正12年(1923年)1月
[発売日]毎月10日
[定価]880円(税込)



他誌比較

ナンバーワンの発行部数で、
全国へ情報を届けます。



※各誌の数字は、JMPAマガジンデータ(2015年7月～9月)及びABC公査(2015年7月～12月)より

誌面展開

元気に長生きするには、
まず頭の健康が第一。

「アクティブシニア特集」では、企画巻頭の「編集ページ」として、脳と耳の関連性に着目した記事を展開します。医師や大学教授などの有識者にインタビューして、認知症と難聴の関連性について記事を構成します。

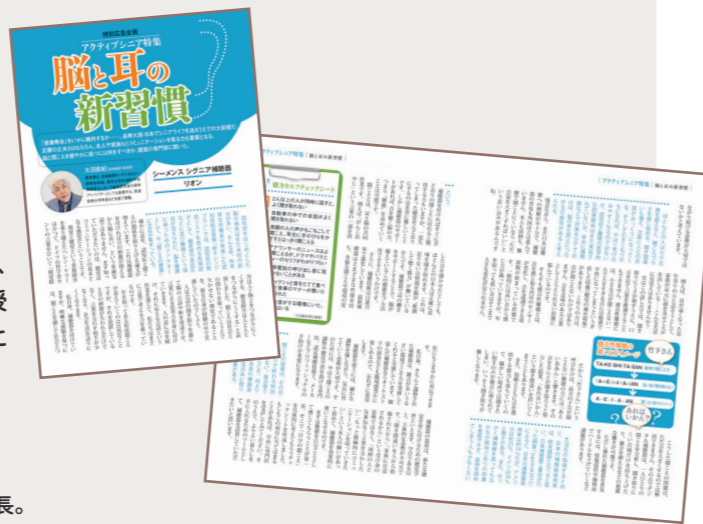
取材候補

※出演交渉はこれからです

- ・関谷芳正氏……耳鼻咽喉科専門医、補聴器相談医。関谷耳鼻咽喉科院長。
- ・五島史行氏……独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 耳鼻咽喉科勤務。脳トレと認知症のかかわりに言及している。
- ・中川雅文氏……国際医療福祉大学大学院 耳鼻咽喉科教授。『耳トレ！—こちら難聴・耳鳴り外来です』(エクスナレッジ)など。
- ・川島隆太氏……東北大学加齢医学研究所 教授。脳トレの第一人者。

誌面展開案

※頁構成は変更となる可能性があります



読者の反響多数

- 今年に入り少々聞こえづらくなり、補聴器をつけようかなと思っています。使いやすい補聴器が目立たないものが欲しいです。
- 購入した補聴器に満足していません。長く調整管理をしっかりとってくれて、熟練した技術者の店で購入したいと考えています。
- 日ごろなんとなく過ごしている中であてはまる記事内容がたくさんありました。脳と耳がとってもしっかりとつながっていることにもびっくり、学びになりました。
- 両親を見ていて、自分が年取ったら補聴器を早目に選びたいと思っています。
- 最近、特に左耳の聴力の衰えを感じるので、機能や種類に興味が高くなりました。
- 感性性難聴の事をとり上げていて、大変ありがたい。聞こえない事は社会にとってどういう事なのか、広告を通じて啓発を期待します。

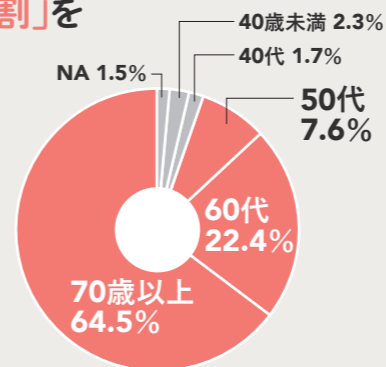
オプション企画 文藝春秋セミナーのご案内

「アクティブシニア特集」に広告をご出稿いただいた企業様に限定してセミナーを開催することが可能です(文藝春秋メディア事業局との共催となります)。『文藝春秋』の優良読者を招待して実施するプレミアムセミナー。開催時期、費用等に関しては、個別にお問い合わせください。

読者プロフィール

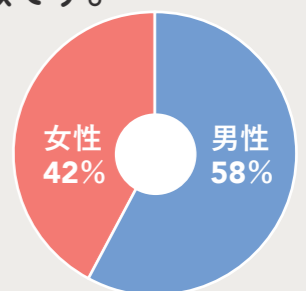
年齢層

本企画の読者は
「50代以上が9割」を
越えています。



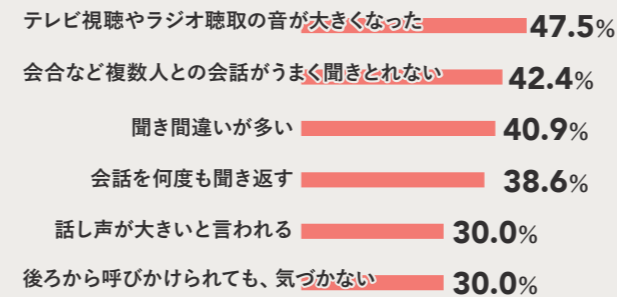
男女バランス

男性6割、女性4割。
バランスの良さも
「文藝春秋」の特徴です。

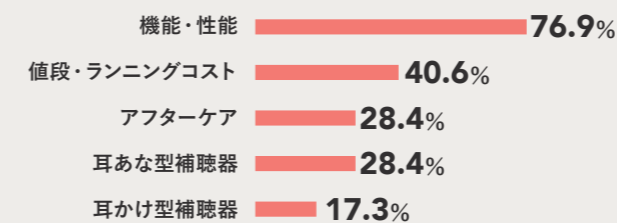


ビデオリサーチ
「MAGASCENE ex.2015」より

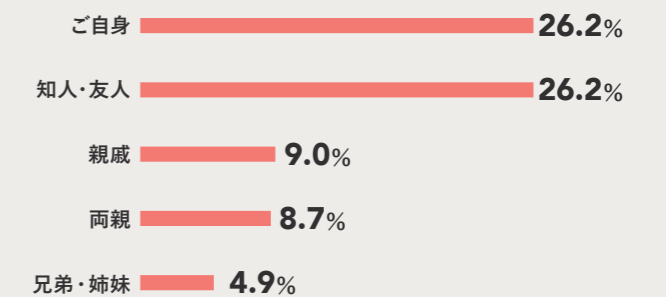
「聞こえ」に関して気になることは?



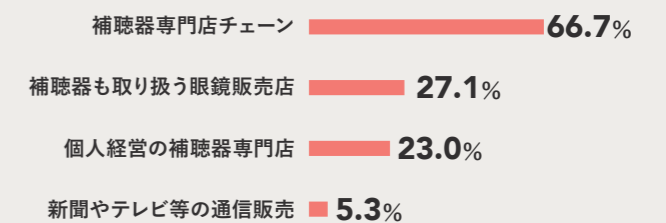
補聴器えらびで重視する・したい点は?



現在、補聴器を使用していますか?



どのようなお店で購入したい?



本誌2016年6月号「アクティブシニア特集」読者アンケートより